

亭南に王城を建つべしー将門記より

我孫子の文化を守る会 戸田七支（かずゆき）

将門記について各分野より綿密な研究がなされ、既に完成された感がある。しかし小職にとっては納得しがたい所があり、これを明らかにして先輩諸氏のご批判を仰ぎたいと思う。

坂東市本将門記 p 84 に次の記述がある。「…其記文に云く、王城を下総国の亭南に建つべし。兼て檣橋（ウキハシ）を以て号して京の山崎と為、相馬郡大井の津を以て京の大津と為（セ）む。…」と書かれている。この文章の存在は殆んどの人が知っている。しかしその重要性について知る人は多くない。将門が自らの言葉で決意を述べたもので、将門記に於いて白眉をなす重要な記述と思う。理由をのべよう。

「王城を下総国の亭南に建つべし」とある。これは下総国の将門亭、将門の居館の南へ王城を建てようとの意味、将門亭の真南には将門城（日秀城）がある。これを将門の居城にふさわしい王城にしようと考えた。場所は現在の将門神社が有るところー我孫子市日秀 180 番地

「下総国亭南に・・・」将門亭は王城の真北、官道と交わる場所。東西にズレたら亭南をはずれることになる。現在の湖北地区公民館あたりと考える。ー我孫子市中里 8 1 番地 3 号

「檣橋を以て号して京の山崎と為」と書かれているが、王城の山道を下ったところに棧橋、船着き場がある。このあたり一帯を檣橋と称して京の山崎になぞえた。兼て檣橋（ウキハシ）を以て…とあるが、（アワセテ）檣橋を以て…と読むべきであろう。

老人施設、久遠苑のあるあたりと考える。ー我孫子市日秀 208 番地

「相馬郡大井の津を以て京の大津と為（セ）む。」とあるが、柏市大井福満寺周辺に展開する地域が符合するー柏市大井 1708 番地。将門亭、王城、檣橋（京の山崎）、大井の津（京の大津）とその存在が不明であった地点が明らかになった。これ等の場所はいずれも手賀沼周辺 8 k m の処にあり、京の山崎、大津に例えられた景勝地である。実際は京のそれらと比べれば賑わいもなく貧相なものと言えよう。武力に優れた将門にすれば王城は強大で難攻不落のものを目指すべきと思われるが、将門が相馬郡に夢見たものは小さなユートピアにすぎない。平和で優しい将門の姿が見える。

前項において突然日秀城、王城が出現し驚かれたと思うが将門を理解するには重要なことです。日秀城イコール王城であり、その中心が将門の王城である。日秀城イコール王城とする根拠を述べよう。

赤松宗旦著「利根川図志」崙書房 6 4 p 竹袋城山の項に次のように書かれている。香

取郡牧野長者の娘に小宰相と云うものがいた。後に将門の寵愛を受け、ここの城に召し寄せられた。今も古い井戸の跡があると…。将門の愛妾桔梗御前のことであろう。将門の出城、桔梗御前、井戸の存在が明らかになった。この竹袋から西へ16km、柏市大井福満寺には将門の城山あり、愛妾車御前の住まいと鏡の井戸が存在している。我孫子市日秀はどうであろうか？将門の正室が住んでおり、将門の井戸がある。そこには将門の本城、日秀城、王城がなければならない。これで将門の日秀城、王城の存在が理解されたことと思う。場所は今の将門神社が鎮座している処、物語の中心の中心と言えよう（我孫子市日秀130番地）。王城の所在地（日秀城）が判明すれば他の事象は容易に理解できるであろう。将門が関八州を制覇し、王を宣言したのは天慶2年12月15日、貞盛・秀郷連合軍討たれたのが天慶3年2月14日。あまりの早い幕引きであった。人々は悲劇を一日も早く忘れようとしたのか全てを忘却の彼方へ追いやった。神社の祭礼すら執り行わない決まりとなっている。

あとがき

将門の愛妾桔梗御前を語るとき、我孫子周辺に住む人々の中には桔梗御前を悪く言うことが多い。桔梗を植えても花は咲かない、敵側に情報を知らせた、裏切ったなどと桔梗御前を悪く言う事が多い。これは正室の桔梗御前に対する嫉妬心がなせるものとすれば理解できる。正室、桔梗御前、将門、三人の人間模様が日秀を中心とした場所で繰り広げられたことを示している。

桔梗御前について更に一話加えよう。秩父山の山奥に九十九神社がある。将門の関係者が秩父の山中に逃げ込んだが、敵側に見つかり女子供を含めて99人が虐殺されたという伝説が九十九神社とともに残っている。この犠牲者の中に桔梗御前が含まれている（桔梗塚がある）。これは桔梗御前が仲間とともに逃げて来たことを示している。若し桔梗御前が悪女であったなら、この集団逃避行に加えられる事はない。桔梗御前悪人説は存在しない。

最後に将門記にある「…亭南に王城を建つべし…」の文中ある将門亭、王城、檣橋、大井の津の所在地について多くの人が解明を試みているがその場所を特定する事が出来ていない。結論として将門が計画を進めたものに過ぎなく、どこそこの土地のことかと詮索することは意味がないということになっている。これにたいして将門亭、王城、京の山崎に比定した檣橋、京の大津に比定した大井の津、これ等の所在地を解明し、ことごとく地番を付けて提案した次第です。広く御批判を仰ぎたい。

2023-09-08 戸田七支（かずゆき）記